令和５（2023）年度

（2022年10月又は2023年4月入学）

東京大学大学院薬学系研究科

薬学博士課程学生募集要項

薬 学 専 攻

東京大学大学院薬学系研究科

令和５（2023）年度（2022年10月又は2023年4月入学）

東京大学大学院薬学系研究科薬学博士課程学生募集要項

薬 学 専 攻

薬学博士課程は、修業年限 4 年の博士課程である。

教育研究上の目的

薬学は、医薬の創製からその適正使用までを目標とし、生命に関わる物質、及び、その生体との相互作用を対象とする学問体系である。本研究科は薬学の全ての分野において、最高水準の研究活動を行い、これに裏付けられた教育活動により、創薬科学および基礎生命科学の発展に寄与する研究者、医療行政に貢献する人材、高度医療を担う薬剤師の養成を教育・研究の目的とする。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

東京大学大学院薬学系研究科薬学博士課程は、学位授与方針ならびに教育課程の編成・実施方針を踏まえ、医療薬学、社会薬学、創薬学を機軸に最高水準の教育・研究活動を行い、医療系薬学、社会系薬学、創薬系薬学などの分野で実践的な研究能力を有する優れた先導的薬剤師、医療行政従事者、創薬開発・研究従事者を養成することを目指しています。このような目標のもと、薬学系研究科薬学博士課程では、深い専門性に根ざした薬学的な思考法、論理的で先端的な方法論や分析能力などを統合的かつ自主的に身につけることができる人、ならびに高度な知識と研究能力を礎として薬学がカバーすべき広範な基礎及び応用科学の諸分野を発展的にリードし、将来にわたり国際的リーダーとしての活躍を目指す人を求めています。

入学者選抜においては、上記の分野に関する専門的知識及び英語能力が問われ、発表能力、人物像等を総合して判定します。

１．出願資格

以下⑴～⑹のいずれかの要件を満たす者

⑴ 日本の大学における修業年限６年の薬学を履修する課程を卒業した者及び令和５（2023）年３月31日までに卒業見込みの者（注１）（注５）

⑵ 日本の大学における医学、歯学又は修業年限６年の獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和５（2023）年３月31日までに卒業見込みの者（注１）（注５）

⑶ 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学又は獣医学）を修了した者及び令和５（2023）年３月31日までに修了見込みの者（注２）（注５）

⑷ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が５年以上である課程（医学、薬学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに授与される見込みの者（注２）

⑸ 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び令和５（2023）年３月31日までに修了見込みの者（注３）（注５）

⑹ 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、令和５（2023）年３月31日において24歳に達しているもの（注１）（注４）（注５）

（注１） 上記⑴、⑵、⑹の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

（注２） 上記⑶、⑷には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

（注３） 上記⑸で文部科学大臣の指定した者は、以下の者を示す。

① 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

② 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者

③ 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（注４） ① 上記⑹に該当する者とは、上記⑴から⑸に該当しない者のうち、６年制の大学に相当する教育施設における薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査により、上記⑴又は⑵に掲げる大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者とする。

② 上記⑹で出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、令和４（2022）年5月31日（火）までに本研究科教務チーム（7.⑯）に指定する書類を提出すること。出願資格及び提出書類については、事前に問い合わせること。

③ 出願前の審査で、上記⑴又は⑵に掲げる日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

（注５）　令和4（2022）年10月1日付け入学希望者（以下、令和4（2022）年10月入学希望者）の場合、上記⑴～⑹における「令和５（2023）年３月31日」については、「令和4（2022）年９月30日」に読み替えるものとする。

２．選抜方法

⑴　入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、TOEFL iBTスコア、出身学校の学業成績による。

⑵　日本の大学を卒業していない外国人（日本の大学の学士課程卒業見込み、又は本学大学院正規課程修了又は修了見込みの者を除く）は、外国人留学生特別選抜とする。

⑶　在職のまま入学を希望する者は、社会人特別選抜とする。

３．募集人員及び筆記試験科目

専攻名	募集人員	筆記試験科目 専門科目
薬学	10 名 （社会人特別選抜若干名を含む） 及び外国人留学生特別選抜若干名	有機化学３題・分子細胞生物学３題・物理化学２題・薬理学１題・薬剤学１題・分析化学１題・数学１題・社会薬学１題・医療薬学１題 の９科目 14 題のうちから2 題を受験時に任意選択

⑴　口述試験は、専門科目及び研究業績概要・志望理由・研究計画について行う。

⑵　外国人留学生特別選抜はオンラインにて実施となる可能性がある。詳細については、本研究科Webサイト（及び出願受付期間終了後は本研究科Webシステム）で公表するので、随時確認のこと。

⑶　試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合がある。

４．試験期日及び場所

⑴　試験期日は次のとおりとする。

①　筆記試験　　令和４（2022）年８月8日（月）

②　口述試験　　令和４（2022）年８月9日（火）

※　令和４（2022）年10月入学希望者の選考も上記期間に実施する。

⑵　試験の時間割はこの要項の最終頁を参照。場所等については、本研究科Webシステムにて受験票と共に通知する。

５．合格者の発表及び入学手続

⑴　合格者の発表は、令和４（2022）年８月24日（水）夕方～夜頃に本研究科Webサイトにて行う。http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/index.html?key=1378943625

⑵ 合否通知は、令和４（2022）年８月25日（木）に本研究科Webシステムを通じて通知する。

⑶ 入学手続は、合否通知と同日に通知する入学手続要領により、所定の期間内（４月入学の場合は３月中旬、10月入学の場合は９月初旬の数日間）に所定の手続き（入学料納付・書類提出等）を行うこと。なお、所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱う。

⑷　入学時に必要な経費（令和５（2023）年度予定額）

〔日本政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては徴収しない。〕

①　入学料　282,000円（予定額）

※本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き本研究科薬学博士課程に入学する者については、入学料は徴収しない。

②　授業料　前期分　260,400円（年額 520,800円 予定額）

注）上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

６．出願手続

出願や提出書類は本研究科Webシステム（６月上旬頃に公開予定。）からのオンラインでの出願・提出とする。

別紙「令和５（2023）年度　薬学系研究科担当教員研究分野一覧」を参照の上、出願前には必ず第１志望の志望指導教員とアポイントを取り、出願できることを確認しておくこと。なお、Webシステムの都合上、出願時に第２及び第３志望も登録することになる。

⑴ 受付期間

令和４（2022）年６月１５日（水）～２２日（水）。詳細は公表可能となり次第、本研究科HPにて公開。

http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/index.html?key=1377735871

⑵ 提出書類等

本研究科Webシステムにて電子媒体（紙媒体でしか存在しない書類は電子媒体にしたもの（PDF等））をアップロードすること。詳細はWebシステム内で確認のこと。

「③成績証明書」の紙媒体は、入学手続（5.⑶）時に提出が必要となるので、それまでは保管しておくこと。

①　受験用顔写真データ

出願時より３ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽・無背景で顔がはっきりと認識出来る画像データ（JPEG,PNG,GIF,BMP）。スマホ等での自撮画像でも可。サイズは20Mbまで

②　TOEFL iBTスコア

TOEFL iBTのスコア（２０２０年９月１日以降に受験したもの。TOEFL iBT® Special Home Editionのスコアも可）に関わる下記1)の提出及び2)の対応をすること。

1) Test Taker Score Report のコピー

※「(1)受付期間」期間中に本研究科Webシステムにアップロードすること。

2) Institutional Score Report

※TOEFL iBT受験申込みの際、TOEFL コード番号（D110）（Department コード:“99”）を入力すると、実施機関のETS から本研究科に直接Institutional Score Reportが郵送される。

この手続きが完了し、試験自体にも問題がなかった場合は、受験後約2週間程度で本研究科でもオンライン上でスコアデータを確認可能となる。

このデータを本研究科で７月１３日までに確認できた時点でInstitutional Score Reportの受理とする。

※既に受験済みのスコアを提出する場合も、必ずETSへ依頼すること。

※TOEFLを複数受験したことにより、ETS からの“Institutional Score Report”のスコアデータが本研究科にて複数確認された場合は、上記 1)と同一のスコアを採用する。

③　研究業績概要・志望理由・研究計画

本研究科所定の用紙（別紙）に入力したもの。

④　成績証明書

出身大学（教養課程を含む。）のもの。ただし、本学薬学部卒業者及び卒業見込者は、提出不要。大学院修士課程（博士前期課程）又は専門職学位課程を修了若しくは修了見込みの場合は、その成績も併せて提出すること（外国人は、出身大学の卒業証明書（学士課程）を併せて提出)。

改姓名等により証明書に記載された本人氏名が、現在の氏名と異なる場合は、その証明書が本人のものであると証明できる公的書類の原本（戸籍抄本等）も添付のこと。

⑤ 外国人留学生特別選抜受験者は、指導教員又はこれに準ずる者（勤務先であればその長又は代表者）による**日本語の学力を表す証明書（所定様式。別紙）**を提出すること。

なお、国際交流基金及び日本国際教育支援協会が実施する**日本語能力試験の「日本語能力認定書」の写し**をもってこれに換えることができる。ただし、本研究科大学院外国人研究生については、提出不要。

⑥　検定料支払証明　　30,000円

※ ただし、下記の者については、検定料は徴収しない。

ａ．本学大学院修士課程又は専門職学位課程の修了見込者

ｂ．日本政府（文部科学省）奨学金留学生

〔本研究科に在学中の者（研究生を含む）以外は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生である証明書を提出すること。〕

１）振込期間　　出願期間と同じ

２）振込場所及び方法

【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ＡＴＭ、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカードでの払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書（別紙）に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ペイジー対応ＡＴＭ、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ＡＴＭ、インターネットは利用しないこと)。振り込みの際、振込金受取書（Ｂ票）及び検定料振込金受付証明書（Ｃ票）を受け取り、検定料振込金受付証明書（Ｃ票）を本研究科Webシステムにて提出すること。振込金受取書（B 票）は受験者用の領収書となる。

なお、振込先銀行の本・支店以外から検定料を払い込む場合は、振込手数料が出願者本人の負担となるので、留意すること。

※ゆうちょ銀行・郵便局、ＡＴＭ、インターネットでの振込では、「検定料振込金受付証明書（Ｃ票)」が発行さ

れないので利用しないこと。

【銀行振込以外の場合】

別紙「東京大学大学院 薬学系研究科 検定料払込方法」を参照すること。

7．注意事項

新型コロナウイルス感染症等の影響により、本募集要項の内容を変更する場合は、本研究科 Web サイト（及び出願受付期間終了後は本研究科Webシステム）で公表するので、随時確認のこと。http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/index.html?key=1377735871

⑴ 受験票は、出願受付期間終了後に本研究科Webシステムを通じて配布する。令和４（2022）年７月29日（金）までにWebシステムにて受験票を確認できない場合は、本研究科教務チーム（7.⑯）へ連絡すること。

⑵ 出願手続後は、どのような事情があっても書類の変更は認めない。また、検定料の払い戻しも行わない。

⑶ 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、出願時に本研究科教務チーム（7.⑯）に申し出ること。

⑷ 本研究科においては、令和５（2023）年４月入学のほかに、令和４（2022）年10月入学を認めることがある。

⑸ 事情によっては、出願手続、試験期日等について変更することがある。

⑹ 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

⑺ 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

⑻ 外国人は、入学手続（5.⑶）時までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

⑼ 社会人で在職の身分のままで入学を希望する者（社会人特別選抜合格者）は、「在学期間中学業に専念させる」旨の勤務先の長の承諾書（様式任意。証明者は上長であれば役職は問わない。）を入学手続（5.⑶）時に提出すること。

⑽ 外国において後期中等教育及び大学教育を修了又は修了見込みの日本人には、特別選抜を行うことがあるので、事前に本研究科教務チーム（7.⑯）に問い合わせること。

⑾ 研究論文があれば提出してもよい。

⑿ 入学手続後は、どのような事情があっても入学料の払い戻しは行わない。

⒀ 出願時における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

⒁ 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、ご注意願いたい。なお、詳細については、以下の本学安全

保障輸出管理支援室Webサイトを参照すること。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html

⑮ 災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は本研究科Webサイト（及び出願受付期間終了後は本研究科Webシステム）で行う。http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/index.html?key=1377735871

⑯ **問い合わせ・連絡先**

東京大学大学院薬学系研究科教務チーム

Ｅメール　gakuin1@mol.f.u-tokyo.ac.jp

電　　話　03-5841-4704（平日午前１０時～午後５時（１２～１３時を除く））

※問い合わせの場合は、出来るだけEメールで連絡すること。

令和５（2023）年度 東京大学大学院薬学系研究科薬学博士課程入学試験日程及び過去問題について

試験日程

期　　日	試　験　科　目		配点 注３）	試験時刻・時間	
８月８日（月）	筆記試験（対面）	専門科目 有機化学３題 注１）・分子細胞生物学３題 注２）・物理化学２ 題・薬理学１題・薬剤学１題・分析化学１題・数学１題・社会薬学１題・医療薬学１題 （14 題中２題を受験時に任意選択）	200	13：30 ～ 14：50	１時間 20 分
８月９日（火）	口述試験（オンライン）			14：00 ～	発表　２分 質問　８分

注 1）有機化学 3 題のうち 1 題は「スミス有機化学/Organic Chemistry 第 5 版 J.G. Smith 著」の内容から出題する。

注 2）分子細胞生物学 3 題は「細胞の分子生物学/ Molecular Biology of the Cell 第 6 版 B. Alberts 他著」の内容から出題する。

注 3）出願時に提出されたTOEFLiBTスコアは満点１００点として換算する。

過去問題の入手方法 過去の入学試験問題は薬学図書館で閲覧可能です。その場でコピーすることもできます。また、下記でも取り扱っています。

文学部複写センター（日本興業社）
〒113-0033 東京都文京区本郷７－３－１（法文２号館地下）
TEL：03–3814–9301　FAX：03–5802–5374
http://www7b.biglobe.ne.jp/~printservice/